

平成二十五年 度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜 全日制の課程

Ⅱ 国 語

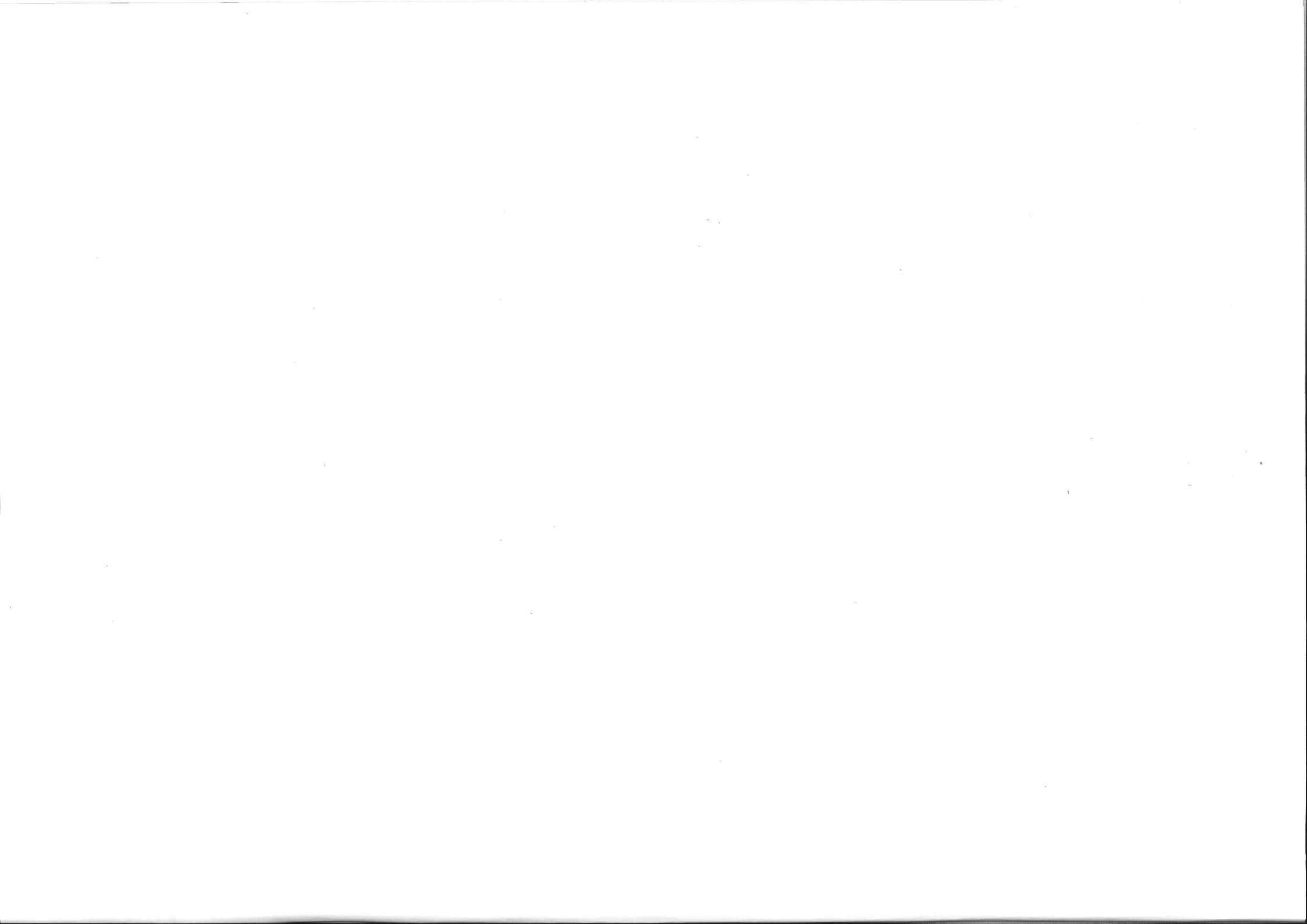
注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は問五までであり、1ページから13ページに印刷されています。
- 3 答えは、解答用紙の決められた欄（らん）に、はっきり書き入れなさい。
- 4 解答用紙にマス目（例：


）がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。
- 5 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号

番



問一 次の問いに答えなさい。

(ア) 次の各文中の——線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代かなづかいで書きなさい。

- 1 彼の演説に聴衆は聞き入っていた。
- 2 大きな炎をあげてガスが燃焼する。
- 3 その評論家は毒舌だが、人情味がある。
- 4 討論会で彼女の意見に異を唱える。

(イ) 次の各文中の——線をつけたカタカナを、漢字に直しなさい。(楷書で大きく、ていねいに書くこと。)

- 1 監督が試合のシヨウインについて語った。
- 2 草原で牛をホウボクする。
- 3 対戦相手を攻略するためのヒサクを練る。
- 4 友人からの賞賛を受けてテれる。

(ウ) 次の文章中の「地域の皆さん」に対する敬語の使い方について説明したものとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

本日の校外清掃にはたくさんの方の皆さんにご参加していただき、ありがとうございました。私たちが生徒もこの地域がもつときれいになるようがんばりますので、これからもご協力ください。

- 1 「ご参加していただき」は、敬意が十分でないで、「ご参加させていただきます」にするのがよい。
- 2 「ご参加していただき」は、敬語表現として適切でないで、「ご参加いただき」にするのがよい。
- 3 「ご協力ください」は、敬意が十分でないで、「協力になってください」にするのがよい。
- 4 「ご協力ください」は、敬語表現として適切でないで、「ご協力してください」にするのがよい。

(エ) 次の俳句を説明したのとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

(著作権上の都合により省略)

うえだ 五千石

- 1 擬人法の使用により、地上に小さく映った人間とその周囲の風景を渡り鳥の視点からとらえて秋の情景が描かれるとともに、地上にひとりたたずむ作者の様子が立体的に表現されている。
- 2 命がけの旅に出る過酷さと、それに負けないように力強くはばたく渡り鳥の生命力への感動を通じて、自分を小さく感じていた作者が励まされ、自分を見つめ直す姿がとらえられている。
- 3 遠ざかっていく渡り鳥と小さくなっていく作者との距離の広がり、故郷に帰る渡り鳥と故郷に帰れない作者との心の隔たりを暗示し、故郷を失った作者の姿が間接的に写し出されている。
- 4 地上から渡り鳥を見上げていた作者が、一瞬の後には渡り鳥と一体化して渡り鳥の視点から、遠ざかる地上を眺めるといふ構図によって、自分自身を見つめている作者が描かれている。

兄の源頼朝から敵と見なされ追われる身となった「源義経」とその一行は、追っ手から逃げる途中、流れが速く、渡ることが難しそうな川に行き当たった。飛び越えられそうな場所を見つけて、皆が順番に川を越えていく中、最後に残った「武蔵坊弁慶」は、軽々と川を渡った、主人である「義経」を意識して、自分はさらに難しい場所から飛び越えて見せようとわざわざ川上に移動した。

「そこ退きたまへ。この川相違なくはえ越えて見参に入らん。」と申しければ、判官これを聞きたまひ

て、「義経を偏執するぞ。目なやりそ。」と仰せられて、貫の緒の解けたるを結ばんとて、兜を傾けておはし

けるとき、「えいやえいや。」と言ふ声ぞ聞こえける。相違なく向かひの岸に飛びつきたりけるが、とり

つきたる岩つつじを引き切りてぞ落ち入りける。水は速く、ただ流れ行く。判官これを御覧じて、「あは

や、仕損ずるは。」と仰せられて、熊手を取り直し、川端に走り寄り、たぎりて通る総角に、ぐさと引つ掛け、

「これ見よや。」と仰せられければ、伊勢三郎つと寄りて、熊手の柄をむずと取る。判官、差し覗きて見たま

へば、鎧着て人並み外れた大男の法師である弁慶を熊手に引っかけて、宙にぶら下げたので、宙に提げたりければ、水たらたらとしてぞ引き上

げける。稀有の命生きて御前に苦笑ひしてぞ出で来ける。

判官これを御覧じて、あまりの憎さに、「如何によ、口の利きたるには似ざりけり。」と仰せければ、

「過ちは常のこと、孔子の倒れと申すこと候はずや。」と狂言してぞ申しける。

〔義経記〕から。

(注) 判官＝「義経」のこと。

熊手＝長い柄の先に鉄のつめを並べてつけた武器。

総角＝鎧の背中についている飾りのひも。

伊勢三郎＝「義経」の家臣。

(ア) 線1「兜を傾けておはしける」とあるが、そのときの「義経」の様子を説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 生意気な態度をとる「弁慶」をこらしめるために、他の家臣に「弁慶」を相手にしないようにと命令しながら、自らは困ったことだと天を仰いだ。
- 2 さらに難しいところから川を渡ってみせようとする「弁慶」が心配で、落ちる姿をとんでも見ていられないと思い、思わず顔をそむけていた。
- 3 いいところを見せようとする「弁慶」が憎らしいので、他の家臣に「弁慶」を見ないよう言々と、自分も靴のひもを結ぼうとして下を向いていた。
- 4 無事に渡ってくれさえすればいいのに、余計なことをして皆に苦勞をかけてしまう「弁慶」の気持ち

(イ) — 線2 「如何によ、口の利きたるには似ざりけり。」とあるが、その意味として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 なんとまあ、口数が多いのに言い訳はしないのだな。
- 2 どうした、口が達者であるわりにはだらしないな。
- 3 どうして、減らず口ばかりたたいて皆に合わせないのだ。
- 4 なんと、口にしたらおりに飛び越えるとは思わなかった。

(ウ) — 線3 「孔子の倒れと申すこと候はずや。」とあるが、それを説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 中国の聖人である孔子こうしのように立派な人物でも時には失敗をすることがあるのだから、この「弁慶」が失敗するのはあたりまえだということ。
- 2 中国の聖人である孔子のように何でも知り尽くしている人物に説教しても意味がないのだから、この「弁慶」に説教しても無駄だということ。
- 3 中国の聖人である孔子のように賢い人物は過ちを犯さないものだから、この「弁慶」が今回過ちを犯してしまったのも珍しいことだということ。
- 4 中国の聖人である孔子のように穏やかな人物でも何度もひどいことをされれば怒るのだから、この「弁慶」もあまりばかにされると怒るということ。

(エ) 本文の内容と一致するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「弁慶」は、人前では「義経」と張り合っていたが、内心では助けてもらうことで主人の気を引こうと思ひ、わざと川に落ちておぼれるふりをした。
- 2 「義経」は、「弁慶」が向こう岸に生えていた岩つつじを一度はつかみながらも川に落ちてしまったのを見たが、すぐには助けようとしなかった。
- 3 「義経」は、「伊勢三郎」に命じて川を流されていく「弁慶」を熊手に引っかけた助けさせると、ずぶ濡れの体を宙にぶら下げてその姿をあざ笑った。
- 4 「弁慶」は、自分の命にかかわるほどの失敗にも苦笑いして悪びれることなく、「義経」に皮肉を言われても冗談で切り返して言い逃れた。

問三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(坂井 希久子「迷子の大人」から。一部表記を改めたところがある。)

(注) ご法度〓禁止されていること。

(ア) 線部「口調に含みはなく」とあるが、本文中における意味として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 あらゆる感情をおさえてことばの調子を平静に保っており
- 2 素直な気持ちで接してことばの中にお世辞が入っており
- 3 ことばの裏に皮肉や不平などの感情が込められておらず
- 4 直接ことばに表さず言外に気持ちを伝えようとしており

(イ) 線1「えっ、でも。」とあるが、そのときの「星子さん」の態度に対する「私」の様子を説明したのとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 気まずいので帰りたいのに、夕飯まで食べていくように引き留める強引な態度にうろたえている。
- 2 担当を外された理由を聞きたいのに、夕飯をすすめて話をはぐらかす態度に疑問を感じている。
- 3 ひどく迷惑をかけたのに、文句も言わず笑顔で接してくれる態度に強い不信感を抱いている。
- 4 説教される覚悟をしていたのに、自分を拒んだ人とは思えない打ち解けた態度に戸惑っている。

(ウ) 線2「私あなたに、お茶を淹れそうになったのよ。」とあるが、その言葉で「星子さん」が「私」に伝えようとしたこととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「星子さん」は、無意識のうちにヘルパーである「私」の職分を忘れてついお茶を淹れてしまったことで、自分の老いを痛感したということ。
- 2 「星子さん」は、「私」と一緒にお茶を飲むことで、もっと積極的にヘルパーの立場ではない「私」と友だちになろうとしていたということ。
- 3 「星子さん」は、「私」に友人のような親しみを感じて、ヘルパーとしての「私」の立場を忘れるほど自然に接するようになっていたということ。
- 4 「星子さん」は、「私」と友だちになりたいので、ヘルパーへの禁止事項をわざとして「私」をやめさせるきっかけにしようとしたということ。

(エ) 線3「私の視界はもう、霞んでぐっちゃぐちゃになっていた。」とあるが、「私」がそのような状態になった理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「星子さん」に嫌われていたわけではなかったのはうれしいが、ヘルパーとしては頼りにされていなかったことを実感して情けなさがこみあげ、涙があふれてきたから。
- 2 「星子さん」が一年の間にずいぶんやさしくなったことを感じると同時に、その間何もしいまま過ごしてしまった自分の薄情さが許せず、涙があふれてきたから。
- 3 一年前にはヘルパーとして認めてくれなかった「星子さん」が、今では一人前のヘルパーとして認めてくれていることがあまりにもうれしくて、涙がとまらなくなったから。
- 4 担当を外された理由がわかってわだかまりがとけ、「星子さん」が自分への好意を伝えてくれたことで一年間たまっていた思いがあふれ出して、涙がとまらなくなったから。



(オ) — 線4「そうね。あなたは、そういう子よね。」とあるが、ここでの「星子さん」の気持ちをふまえて、この部分を朗読するとき、どのように読むのがよいか。最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 何か言われるとすぐ感情的になって怒り出してしまう「私」の子どもっぽいところがかわいいと思いい、わが子をあやすようなやさしい調子で読む。
- 2 いつでも人のことを真剣に思っで本気で向き合ってくれる「私」のやさしさを改めてかみしめながら、親愛の情を込めたあたたかい調子で読む。
- 3 取り乱して応答できない「私」の姿を見て、一年越しでようやく自分の気持ちを伝えたのに困ったことだと呆れてしまい、少し冷めた調子で読む。
- 4 相変わらず混乱してまわりが見えなくなる「私」を見て、改めて友だちになろうとしたのにこれでは無理だと思い、落胆したような調子で読む。

(カ) この文章について述べたものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「私」が一年の隔たりを経て「星子さん」の思いを知り、二人がお互いに望ましい関係になれたことが、あたたかな湯気を立てる湯呑みのお茶に象徴的に表現されている。
- 2 「私」が常に聞き手となって「星子さん」の思いをくみ取り、一年かけて「星子さん」を受け入れられるようになった様子が、「私」自身の語りによって生き生きと表現されている。
- 3 素直だが直情型の「私」と理知的な「星子さん」が、一年の間にそれぞれ成長を遂げてお互いを受け入れていく様子が、二人を主人公にすることで効果的に表現されている。
- 4 再会のきっかけとなった「エリーゼのために」によって、「私」と「星子さん」との理解が深まっていくまでの変転が、曲のイメージと重なって感動的に表現されている。

問四

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(島田<sup>しまだ</sup> 雅彦<sup>まさひこ</sup>)「いまを生きるための教室 死を想え<sup>おも</sup> 国語・外国語」から。一部表記を改めたところがある。

(注) ニュアンス＝言葉の微妙な意味合い。

サーミラップランド地方に住む民族。

シェイクスピア＝イギリスの詩人・劇作家(一五六四～一六一六)。「ロミオとジュリエット」はその代表的戯曲。

定義＝言葉でもの意味や内容を限定して説明したもの。

(ア) 本文中の A・B に入れる語の組み合わせとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- |     |      |   |     |     |     |   |      |
|-----|------|---|-----|-----|-----|---|------|
| 1 A | けれど  | B | また  | 2 A | つまり | B | だから  |
| 3 A | すなわち | B | さらに | 4 A | しかし | B | なぜなら |

(イ) 線1「日本語も外国語との結びつきなしにはあり得ない」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 日本語がずっと昔から外来の漢字を使っているように、外来語の流入は近年になって始まったわけではないため、今さら日本語から外来語を排除することは考えられなくなっている。

2 世界中で情報と物の交錯が絶え間なく進行し、国や言葉の境界があいまいになってきたため、日本語と外国語も文法の変化を伴って融合することが当然の成り行きになっている。

3 他の国々と大量の情報や物の行き来が盛んな時代になって、外国語が大量に日本語の中に流入しているため、外来語を用いない日本語の表現は考えられなくなっている。

4 さまざまな分野で国際化が進む中で、日本も必要な情報や物の多くを海外に依存せざるを得ない状況にあるため、これからの日本人には外国語の習得が必要不可欠になっている。

(ウ) 線2「ザビエルや黒船が日本にきた頃と較べたら、日本語はあらゆることを表現できるようになった」とあるが、それを説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 明治時代以降の日本語を改良していく歴史において、先祖があらゆる外来語をそれ以前からある日本の言葉に置き換えて表現してきたことにより、日本語の表現能力が飛躍的に向上した。

2 多くの外国語を日本語の中に取り込んだり、それまでの日本になかったものや考え方を表現できるようになってきた先祖たちのおかげで、より多様な日本語の表現ができるようになった。

3 古来日本が言葉を使わなくても心が通じ合う文化を持っていたために、日本語は表現力が乏しかったが、流入した外来語を活用して現在のような高い表現能力を持つ言葉に生まれ変わった。

4 先祖たちが苦勞して改良した日本語を、文学者が文学作品という形にして世界と戦えるように示してくれたおかげで、日本語は世界を代表するすぐれた表現ができる言葉になった。

(エ) 線3 「言葉が持っている二重、三重の意味作用」とあるが、それを説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 誰もが知っている意味だけでなく、新たに意味を与えることで表現の可能性が広がること。
- 2 誰でも言葉の定義は変えられるので、どんなに言葉を選んでも複数の解釈が生じること。
- 3 小説家によって古い言葉をもとに次々と新しい表現が生み出されて言葉が豊かになること。
- 4 言葉で世界と戦うことで世界に通用する考え方を身につけ、多様な場面で活用できること。

(オ) 線4 「それは外国語の学習も同じだ。」とあるが、筆者がどのように考える理由を説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 言葉の本質をとらえ流暢に使いこなすためには、十分な文法の学習とともに、絶えず教える立場に立って言葉をくりかえし考えるという経験が重要だから。
- 2 言葉を習得するためには、まず文法を学習したうえで古典の本質を知り、現在の言葉との比較において言葉をとらえ直すということが近道だから。

3 言葉がそれぞれの国でどのように使われているかを知るためには、文法の学習以上にその言葉を使っている人々の生活様式をまねするしか方法がないから。

4 言葉を身につけるためには、文法の学習だけでなく、その言葉を使っている人々の生活や習慣などその言葉のさまざまな背景を理解する必要があるから。

(カ) 本文の最初から▲までの文章を要約しなさい。ただし、次の①、②の条件を満たし、全体で四十字以上五十字以内の一文で書くこと。

- ① 世界中の人が同じ言葉を話すことに対する筆者の考えとその根拠に触れること。
- ② 文末は、□ (句点) で終わること。これも字数に含めること。

(キ) 国語の授業の中で、生徒たちがいくつかのグループをつくり、本文を読んだうえでその内容について話し合った。次の1〜4は、あるグループでそのときに出された意見の一部である。筆者が本文中で述べている内容と合っていないものを次の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 「これまで覚えてきた英語の単語も、そのまま日本語に置き換えられるものだと思っていたけれど、生活習慣や考え方も違うのだから私たちの感覚とは微妙なズレもあるんだね。」

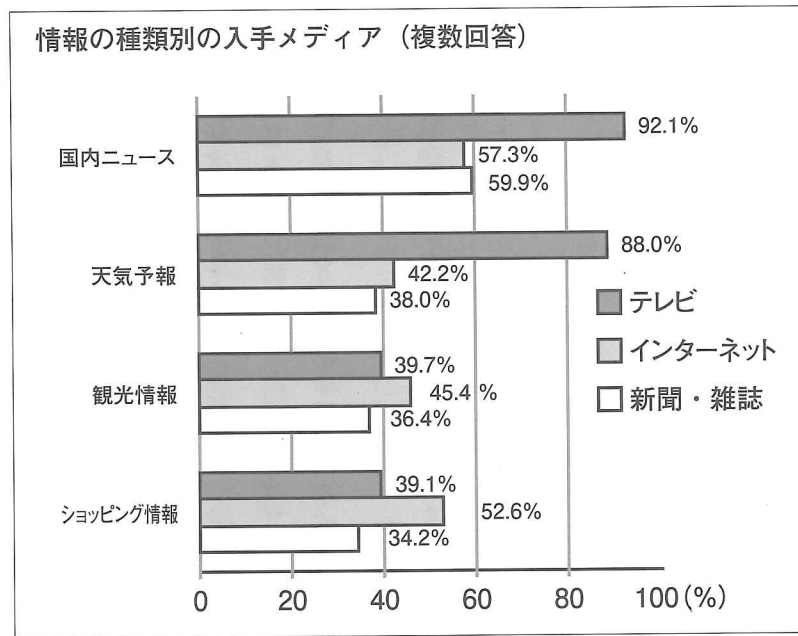
2 「日常でも英語はたくさん使っているけれど、だからといって英語を上手に話せないのは、実際の英会話に必要な単語や言い回しがまだ日本語の中に定着していないからだっただね。」

3 「小説を読むということは、小説家が作品の言葉の中に込めた意味をつかむことをとおして、私たちが日常生活の中で人の言葉が本当か嘘かを判断することにも役立つんだね。」

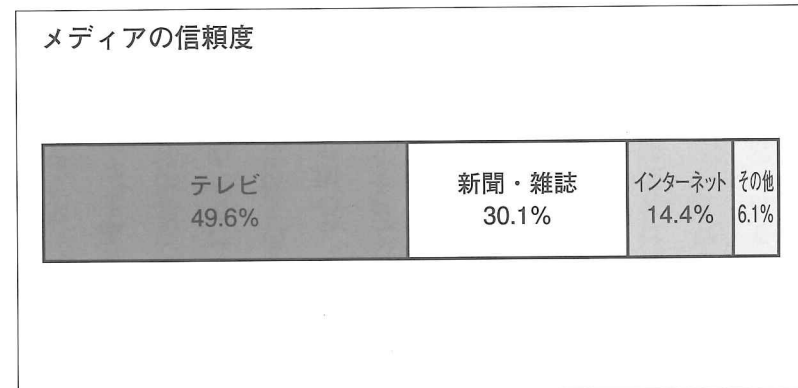
4 「日本語がたくさんの外来語を取り入れてきた背景には、先人がそれだけたくさんの新しい考え方を吸収して日本語を便利にしてきた歴史があるということも言えそうだね。」

問五 中学生のAさん、Bさん、Cさんのグループは、総合的な学習の時間にメディアについて調べ、その内容を発表した。次のグラフ1、グラフ2と文章は、そのときのものである。これらについて、あとの問いに答えなさい。

グラフ 1



グラフ 2



※グラフ2の百分率で示された数値は、四捨五入しているため、合計が100%にならない。

総務省「平成24年版 情報通信白書」より作成。

Aさん 私たちは、テレビ、インターネット、新聞・雑誌の三つのメディアについて、資料として示す二つのグラフから読み取った内容をもとに、「メディアの効果的な利用について」というテーマで考えたことを発表します。

Bさん グラフ1は、国内ニュース、天気予報、観光情報、ショッピング情報の四つの情報の種類別に、その情報を入手する際にどのメディアを利用しているかをそれぞれの利用率で示したものです。

三つのメディアに着目して、情報の種類別に比較したとき、それぞれ最も利用率の低いものを見ると、新聞・雑誌は、天気予報、観光情報、ショッピング情報で最も低く、インターネットは、国内ニュースで最も低い利用率になっています。同じように、それぞれ最も利用率の高いものを見ると、

テレビは、

これを見て私が思ったのは、この結果は、それぞれのメディアの特性と結びついているのではないかとということです。たとえば、テレビは不特定多数を対象に広く日常に役立つ情報を手軽に手に入れられるメディアであり、インターネットは、個人的な必要に応じて自分で好きなときに情報を引き出すことができるメディアです。このような違いを、人々は無意識のうちに判断してメディアを使っているのかもしれませんが、きちんと理解したうえでメディアを使い分ければ、もっと有効な利用ができるのではないかと思います。

Aさん 私が見た別の資料では、この三年間、テレビの利用時間はそれほど増加していないにもかかわらず

ず、インターネットの利用時間は「増えた」と答えた人が半数近くにもほつているというデータもありました。これからの生活の中で、インターネットの存在がますます大きくなっていくと考え人は皆さんの中にも多いのではないのでしょうか。しかし、インターネットについては、次のような見方もあるのです。

Cさん グラフ2を見てください。「メディアの信頼度」として信頼できるものを一つ選んでもらったときの割合を示したのですが、テレビが約五割、新聞・雑誌が約三割の回答に達しているのに比べて、インターネットは低い割合になっています。個人の情報が悪用されたり、うその情報に人々が混乱させられるといった事例が話題になることが多いからだと思いますが、そう考えると、インターネットを利用するときは、信頼できる情報かどうかをきちんと判断することがとても重要だと思います。そして、もちろん、このことは他のメディアにも同じことが言えると思いました。

Aさん これから、私たちがメディアを効果的に利用するには、今のBさんとCさんの二人の意見をしっかり理解したうえで利用することが大切だと考えました。つまり、

メディアを効果的に利用するために大切なことは、

ことです。

私たちは、今回の活動を通じてメディアの見方が変わったように感じました。皆さんはいかがでしょう。これで私たちの発表を終わります。

(ア) 本文中の.....に適用するBさんの発表のことばを、次の①、②の条件を満たし、全体で五十字以上六十字以内の一文で書きなさい。

- ① 本文中の.....線部の説明の仕方を参考にして書くこと。
- ② 書き出しの「テレビは、.....」という語句に続けて書き、文末は、.....(句点)で終わること。これらも全体の字数に入れること。

(イ) 本文中の.....に適用するAさんの発表のことばを、次の条件を満たし、全体で七十以上八十字以内の一文で書きなさい。

- 書き出しの「メディアを効果的に利用するためには、.....」という語句に続けて書き、文末は、.....ことです。.....で終わること。これらも全体の字数に入れること。

(問題は、これで終わりです。)

